

別紙3 点検表記録様式  
基本情報等

様式(その1)

施設名・形式	管理番号	路線名	所在地	設置位置	緯度	
					経度	
管理者名		点検実施年月日		点検員		
		調査実施年月日		調査員※1		
代替路の有無	緊急輸送道路	自専道or一般道	占有物件(名称)			

部材単位の健全性の診断(部材毎に最も悪い判定区分を記入)

点検時に記録				措置後に記録		
部材等	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等 が分かるように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
支柱						
横梁						
標識板または道路情報板						
基礎						
その他						

門型標識等毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	(再判定区分)	(再判定実施年月日)

全景写真

設置年月※2	道路幅員(m)

※1：調査員は、非破壊検査(板厚調査、き裂調査等)を実施した請負者等を記入する。

※2：設置年次が不明の場合は「不明」と記入とする。

## 状況写真(損傷状況)

施設名 (形式)	管理 番号	路線名	点検員	点検年月日
		管理者名	調査員	

写真番号		写真	調査(方針)	調査年月日
部材名			措置(方針)	措置年月日
変状の種類			備考欄	
健全性 の診断	点検時 (調査時)			
	措置後			

写真番号		写真	調査(方針)	調査年月日
部材名			措置(方針)	措置年月日
変状の種類			備考欄	
健全性 の診断	点検時 (調査時)			
	措置後			

写真番号		写真	調査(方針)	調査年月日
部材名			措置(方針)	措置年月日
変状の種類			備考欄	
健全性 の診断	点検時 (調査時)			
	措置後			

写真番号		写真	調査(方針)	調査年月日
部材名			措置(方針)	措置年月日
変状の種類			備考欄	
健全性 の診断	点検時 (調査時)			
	措置後			

○部材単位の健全性の診断(判定区分)が、Ⅱ、Ⅲ又はⅣの部材について記載する。なお、同一部材で、変状の種類が異なる損傷がある場合は、変状の種類毎に記載する。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

## 点検表(施設諸元)

種別		管理者		ブロック番号		施設番号	
----	--	-----	--	--------	--	------	--

### ■位置情報

道路種別		路線名		上・下別	
所在地				距離標 (km)	
緯度		経度		備考	

### ■構造情報

支柱形式		表面処理形式		基礎形式	
支柱基部 リブ形状		路面境界部 の状況		灯具種類	
標識設置枚数 及び標識番号		標識板の 取付形式		標識板の落下 防止対策	
ゆるみ止め 対策の有無		合いマーク		制振装置 の有無	
柱基部排水性 向上対策		設置年月		備考	

### ■設置環境情報

設置環境		海岸から の距離		融雪剤 散布区間		風規制 実施区間	
防雪対策 実施区間		センサス 年度		センサス 区間番号		交通量	台/24h
道路幅員 (m)		歩道幅員 (m)		緊急輸送道路 指定の有無		通学路指定 の有無	

### ■点検情報

点検種別		点検方法		点検年月日		前回 点検年月日	
点検員 (所属・氏名)				備考			
更新履歴		前回設置年月					

注1: 緯度・経度については、世界測地系で0.1"単位まで記入する  
 注2: 距離標、センサス(年度、区間、交通量)については、ある場合に記入する。

点検表(点検結果票)

種別		管理者		ブロック番号		施設番号	
----	--	-----	--	--------	--	------	--

■点検結果

部材及び点検箇所			対象有無	点検状況	損傷程度の評価														変状の種類	対策の要否	部材の健全性の診断				
					鋼部材										コンクリート部材							共通			
					き裂		ゆるみ・脱落		破断		腐食		変形・欠損		ひびわれ		うき・剝離					滞水		その他	
部材等	点検箇所	記号	点検時	措置後	点検時	措置後	点検時	措置後	点検時	措置後	点検時	措置後	点検時	措置後	点検時	措置後	点検時	措置後	点検時	措置後	点検時	措置後			
支柱	支柱本体	支柱本体	Pph																						
		支柱継手部	Ppj																						
		支柱分岐部	Ppd																						
		支柱内部	Ppi																						
	支柱基部	リブ・取付溶接部	Pbr																						
		柱・ベースプレート溶接部	Pbp																						
		ベースプレート取付部	Pbb																						
		路面境界部 (GL-0)	Pgl-0																						
		路面境界部 (GL-40)	Pgl-40																						
		柱・基礎境界部	Ppb																						
その他	電気設備用開口部	Phh																							
	開口部ボルト	Phb																							
横梁	横梁本体	横梁本体	Cbh																						
		横梁取付部	Cbi																						
		横梁トラス本体	Cth																						
	溶接部・継手部	横梁仕口溶接部	Cbw																						
		横梁トラス溶接部	Ctw																						
		横梁継手部	Cbj																						
標識板等	標識板	標識板(添架含む)	Srs																						
		標識板取付部																							
	道路情報板	道路情報板	Srs																						
		道路情報板取付部																							
	その他(灯具等)	灯具	Sli																						
灯具取付部																									
基礎	基礎コンクリート部	基礎コンクリート部	Bbc																						
	アンカーボルト・ナット	アンカーボルト・ナット	Bab																						
ブラケット	ブラケット本体	ブラケット本体	Brh																						
	ブラケット取付部	ブラケット取付部	Bri																						
その他	その他	バンド部(共架型)	Xbn																						
		配線部分	Xwi																						
		管理用の足場・作業台	-																						

■所見(その他特記事項)

--

■点検予定

点検ができなかった部位		点検予定時期	
点検ができなかった理由		点検実施方法	

■ボンチ絵、写真

※部材の健全性の診断欄のハッチ(濃いグレー)部は、通常では存在しない点検箇所と変状の種類のみ組み合わせである。  
 ※点検調査(例)は、各道路管理者の判断により、大型の道路標識及び道路情報提供装置以外についても定期点検を実施する場合を想定し、共通様式として使用できるように作成したものである。

## 点検表(損傷記録票)

種別		管理者		ブロック番号	施設番号	
----	--	-----	--	--------	------	--

■ 損傷程度の評価および措置(応急含む)

部材名称										
損傷程度 の評価	部材判定	変状の種類								
		鋼部材					コンクリート部材		共通	
		き裂	ゆるみ・脱落	破断	腐食	変形・欠損	ひびわれ	うき・剥離	滞水	その他
	点検時評価									
	措置後評価									
措置 (応急含む)	実施内容									
	未実施	理由								
		予定時期								
		予定内容								
特記事項										

- ポンチ絵、写真
- ・ 損傷部位、箇所を記載
  - ・ 措置(又は応急措置)前後の写真 等

※点検箇所毎につき、なるべく1枚で作成(変状の種類に対する判定区分が、1つでもⅡ～Ⅳと判定された部材毎に作成する)

### 点検表(板厚調査結果記録票)

種別		管理者		ブロック番号		施設番号	
----	--	-----	--	--------	--	------	--

■板厚調査結果

調査部位					測定厚			管理 板厚 t <sub>c</sub> (mm)	限界 板厚 t <sub>l</sub> (mm)	損傷程度 の評価
部材	調査箇所	記号	測定位置	番号	1回目	2回目	最小厚 t(mm)			
支柱	支柱本体	Pph	0°	1						
			90°	2						
			180°	3						
			270°	4						
	電気設備用開口部	Phh	0°	1						
			90°	2						
			180°	3						
			270°	4						
			左	5						
			右	6						
	柱・ベースプレート溶接部	Pbp	0°	1						
			90°	2						
			180°	3						
			270°	4						
	路面境界部 (GL-40)	Pgl-40	0°	1						
			90°	2						
			180°	3						
			270°	4						
	柱・基礎境界部	Ppb	0°	1						
			90°	2						
180°			3							
270°			4							
横梁	横梁本体	Cbh	0°	1						
			90°	2						
			180°	3						
			270°	4						
	横梁・ベースプレート溶接部	Cbh	0°	1						
			90°	2						
			180°	3						
			270°	4						
	横梁仕口溶接部	Cbw	0°	1						
			90°	2						
			180°	3						
			270°	4						

※測定位置については、円周方向4箇所以上とし、腐食状況等に応じて測定箇所を増やすなど適切に状態を把握できるよう考慮すること。

※標準的な測定位置については、附属物(標識、照明施設等)の点検要領(案)(平成〇年〇月 国土交通省道路局)付録-3を参照。